

今週のビルマのニュース 2008年10月31日号【0833号】

今週の主なニュース：ASEM 議長声明ほか

・北京で開かれていたアジア欧州会議（ASEM）首脳会議が25日に終了した。議長声明はビルマ問題にも触れ、ビルマ軍政に対しすべての関係者を政治プロセスに関与させ、政党の活動に対する制約を解除し政治囚を解放することなどを求めた。

・ビルマ軍政のナンウィン外相が27日、北朝鮮を訪問し、朴宜春外相と平壤で会談した。会談では両国間の協力関係の強化などが話し合われた。両国は昨年4月に国交を回復した。ビルマ外相の訪朝は25年ぶり（28日付APほか）。

その他：民主化活動家の弁護士にも禁固刑、ほか

・目撃者の話によれば、軍政は民主化運動指導者アウンサンスーチー氏の自宅周辺に設置されていたバリケードを撤去した。理由などは不明。スーチー氏は自宅軟禁されている（26日付BBCほか）。

・アウンサンスーチー氏の代理人弁護士が、氏の自宅軟禁措置への異議申し立て手続きについて相談するため氏と面会したいと軍政に要請した。スーチー氏は自宅軟禁措置の合法性を問う申し立てを行ったばかり（24日付AFP）。

・インsein刑務所に収容されている国民民主連盟（NLD）党員の、代理人弁護士2人に6か月の禁固刑が言い渡された。「司法手続きを妨害した」との理由だった（30日付ミジマほか）。

・ミンコーナイン氏など、国内で活動する民主化団体「88世代学生グループ」の中心メンバー9人に6か月の禁固刑判決が言い渡された。裁判所の命令に従わなかったことが理由とされた。9人は昨年8月に燃料費値上げに抗議するデモ行進をしたこと等を理由に拘束されており、複数の罪で告訴されている（29日付ミジマ）。

・米国は27日、ビルマ産宝石の輸入禁止措置の施行を開始した。同措置は7月末に成立しており、3か月間の猶予期間が定められていた（28日付AFP）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

新たな発表はなし

イベントなど

・宇田有三写真展「アウンサンスーチーとビルマ」（岐阜県 瑞浪芸術館、11月24日まで）

・東京女子大学祭での展示「FACES Burma 2007 and 2008 感じてください、ビルマの『現在（いま）』を」（ビルマに関する写真展・映画上映・書籍販売）（東京女子大学善福寺キャンパス 6号館 6215教室、11月1・2日、10時～17時）

・新拓生展「黙殺の視線 - Shan state of Burma -」（ビルマ・シャン州の写真展）（新宿ニコンサロン、11月4日～10日、10時～19時。但し最終日は16時まで）

・第24回世界仏教徒会議日本大会 シンポジウムにビルマ僧侶アシン・ナヤカ師出席（浅草ビューホテル、11月15日12時～）

・アジアと日本のつながりを考える国際セミナー「100人の村 あなたもここに生きています」ヒューライツ大阪ほか主催 秋元由紀がパネリストとして参加（大阪市阿倍野区民ホール・小ホール、12月5日14時～）

・ビルマ市民フォーラム例会（文京シビックセンター4階シルバーホール、12月6日18時半～）

ジェーン・バーキン最新アルバム『冬の子供たち』が11月26日に発売予定。アウンサンスーチー氏に捧げる楽曲「アウンサンスーチー」を収録。

インターネット放送局「アワープラネット TV」がビルマでのダム開発問題を取り上げた。ビルマ情報ネットワークの秋元由紀が解説（映像、16分）。
http://www.ourplanet-tv.org/video/contact/2008/20081008_10.html

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165